

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもの家すくすくしえんせんたー風のことり		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子療育の取り組み・小集団の遊びを通じた療育	児童だけにアプローチするだけでなく、一番の理解者である保護者とともに療育に取り組む大切さを理念として掲げている。親子療育から始まり、少しずつ社会を広げていけるように子ども一人ひとりのペースに寄り添いながら、遊びや生活を通して一日一日が少しずつでも楽しいと感じられるような療育を目指している。	保護者の声としても、子育てや就学に関する横のつながり(保護者同士の交流)を求める声が多いため、情報提供や情報交換する場をより充実させていきたい。また、保護者支援については保護者発信によって随時対応することはできているものの、事業所として定期的な面談を実施するなどのアプローチが十分ではないことも再認識した。困り感や不安など、保護者から発信しにくい方もいらっしゃるため、こちらから相談できる場を設けられるように定期的な面談の実施などに努めていきたい。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員体制の不足	人員不足により、受け入れに制限が生じている。保育士が中心の体制であるが、保育人材不足が社会問題となっており、年々人材確保・定着が困難を極め、深刻化している。	保育人材だけではなく、児童指導員や専門職などの人材にも積極的に目を向けてアプローチしていく等の工夫が必要。
2			
3			